

新任のあいさつ

はじめまして。4月から勤務させていただくことになりました整形外科医の鱸と申します。

3月まで皆生にある総合療育センター（児童発達支援センターおよび障害児入所施設）で勤務していました。そこでは治らない障害を持った子どもたちが、その子らしい豊かな生活と自立を目指



して医療福祉の面で支援して参りました。そこで学んだことは、生活モデル（障害でできないことではなく、できる能力を最大限に伸ばし社会の一員として活動参加ができるように支援する医療の考え方）の医療でした。このことは高齢者医療にも充分通用するものです。

整形外科医として今年で40年を迎えます。専門は関節の病気、スポーツの障害です。超高齢化と少子化社会を迎えたなかで健康寿命の延伸が謳われています。対象とする筋肉、骨はリバーシブルであり適切な運動リハビリによっては回復力を持っています。利用者さんと一緒にこの回復力の側面からの支援ができればと考えています。

“人生後半のトータルサポート”を理念に掲げ、地域の高齢者が安心して相談できる信頼される病院を目指している尾崎病院の院長として、スタッフとして、地域の皆様方に健康というプレゼントが差し上げられたらと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。

院長 鱸 俊朗
(整形外科医)